

今後の進め方（案）

	重点事業	連携事業
目的	・産学官が連携する新たな取り組み	・同一目的業務の共通化、協働
内容	案) ①リカレント(ビジネス)スクール ②全世代型キャリア教育プログラム ③奨学金の返済支援制度	例) ・合同FD・SD研修、合同公開講座 ・共同教育プログラム ・学生間の交流・活動支援 等 ※「学ぶ」「働く」「生きる」をテーマに、 広く地域人材の育成・定着に資する取り組み
スケジュール (想定)	R2 事業検討・試行 R3～ 事業実施	R2～ 事業検討・試行、事業実施
進め方	産学官がまたがるWGを組成し、検討・実施 【ステップ】 ①各内容に関するWGを組成 ②定例的な協議を実施 ③総会または運営委員会で審議 ④事業化	知見やノウハウを有する主体が先導しながら順次検討・実施 【ステップ】 ①2団体以上で協議・提案 ②共同事務局で受付・審議 ③事業化